

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
ブライダルプロデュースⅡ	1	後期	2	学部共通・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(たじま まな) 田島 真菜	授業支援システム;「ユニブルー ブを活用します			

(英文科目名 Bridal Produce Ⅱ)

授業の概要

この授業は、本物の結婚式や模擬結婚式などのブライダルイベントを全員で創り上げます。ブライダルイベントを創り上げることに主体的に参加をして、仲間と協働しながら、さまざまな状況に直面し、個人の判断では乗り越えられない問題に対して話し合い、対応策を考えだしてその状況を打開する経験から様々な能力を身に付けることをねらいとしています。なお、本物の結婚式や学生による模擬挙式を実施するため、先輩とともに実習を行います。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(4)、すなわち、講義で培った知識やスキルと体験による総合的な学修経験を得る科目として位置づけられます。1年次配当の体験・実習科目であることから、1年次の前期必修科目であるホスピタリティ概論や1年次後期必修科目であるサービスマネジメント論などの講義科目で得る知識やシミュレーション力と本授業の経験を統合し、ブライダルにおけるサービスやホスピタリティについてチームで考え、プロジェクトの課題を達成することをねらいとしています。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	○	ブライダルの知識を身につけ、本物の結婚式をプロデュースする意味を説明できる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	◎	協働的に仕事に参加し、仕事の達成を意識したコミュニケーションスキルを使用できる。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	ブライダルに参加し、プロのスタッフや先輩と一緒に現場の問題を解決するための方法を学び、仲間の提案を理解し、組織の目標を達成するために協働・協調できる。
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。	○	仕事の中での学習についてのマイセオリーを見つけ出すことができる。 事後学修で振り返りとプレゼンテーションを行い、参加したことの意味について説明できる

授業の方法・講義手法の概要

実習(基礎知識習得のための講義を含む、ブライダルに関するチームでの企画・運営、プレゼンテーション)

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	ガイダンス ブライダルの基礎知識(講義)	事前学修:ユニプルーブの「ブライダルの基礎知識」を読み課題をやってくる。(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
2	ブライダル・ホスピタリティの基礎理解	事前学修:配布冊子第1章「ブライダル・ホスピタリティの基礎」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
3	ブライダルコンセプトとプランニングシートの理解	事前学修:配布冊子第2章(1)「ブライダルコンセプトとプランニングシート」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
4	ブライダルシートに基づく部署別話し合いと報告	事前学修:配布冊子第2章(2)「ブライダルシートと部署」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
5	ヒアリング演習	事前学修:配布冊子第3章(1)「ヒアリング」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
6	プランニングシートの作成と部署別実習	事前学修:配布冊子第3章(2)「ヒアリングとテーマ設定」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
7	プランニングシートに基づく部署別進捗状況と課題の報告	事前学修:ユニプルーブ課題「担当部署の役割と課題(1)」をやって、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
8	部署別実習と振り返り	事前学修:配布冊子第4章「部署別実習」を読み、演習内容を理解し、課題をやってくる(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
9	プランニングシートに基づく部署別作業進捗状況と報告	事前学修:配布冊子第5章(1)～(3)を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
10	部署別実習と振り返り	事前学修:配布冊子第4章「部署別実習」を読み、演習内容を理解し、課題をやってくる(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)

		構築を行う(30分)
11	部署別作業進捗状況の報告	事前学修:ユニプルーブ課題「担当部署の役割と課題(3)」をやって、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
12	部署別実習と振り返り	事前学修:配布冊子第4章「部署別実習」を読み、演習内容を理解し、課題をやってくる(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
13	部署別作業進捗状況の報告	事前学修:ユニプルーブ課題「担当部署の役割と課題(4)」をやって、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
14	部署別実習と振り返り	事前学修:配布冊子第4章「部署別実習」を読み、演習内容を理解し、課題をやってくる(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
15	結婚式・披露宴実施準備(部署別作業)	事前学修:配布冊子第8章(1)～(3)を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
16	結婚式・披露宴実施準備(部署別目標達成度合いの報告)	事前学修:配布冊子第5章「結婚式・披露宴部署別役割」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
17	結婚式・披露宴実施	事前学修:配布冊子第6章「結婚式・披露宴の実マニュアル」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
18	結婚式・披露宴実施	事前学修:配布冊子第6章「結婚式・披露宴の部署実施マニュアル」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
19	結婚式・披露宴実施	事前学修:配布冊子第6章「結婚式・披露宴の実マニュアル」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
20	結婚式・披露宴実施	事前学修:配布冊子第6章「結婚式・披露宴の実マニュアル」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再

		構築を行う(30分)
21	部署別振り返り(グループワーク)	事前学修:配布冊子第7章「振り返り」を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
22	個人でのレポート作成(省察学修)	事前学修:ユニプループ課題「振り返りシート」を記入し、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
23	プランニングシートに基づく部署別振り返りと課題の報告	事前学修:配布冊子第8章(1)を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
24	プランニングシートに基づく部署別振り返りと課題の報告	事前学修:配布冊子第8章(2)を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
25	プランニングシートに基づく部署別振り返りと課題の報告	事前学修:配布冊子第8章(3)を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
26	プランニングシートに基づく部署別振り返りと課題の報告	事前学修:配布冊子第8章(4)を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
27	プランニングシートに基づく部署別振り返りと課題の報告	事前学修:配布冊子第8章(5)を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
28	プランニングシートに基づく部署別振り返りと課題の報告	事前学修:配布冊子第8章(6)を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
29	ブライダル・ホスピタリティについての理解とプレゼンテーション	事前学修:配布冊子第9章を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)
30	ブライダル・ホスピタリティについての理解プレゼンテーション	事前学修:配布冊子第9章を読み、演習内容を理解する(30分) 事後学修:演習から得られた知識の再構築を行う(30分)

成績評価の方法・基準

成績評価は、授業の目標を基準として、授業への参加度(30%)、自己評価および実習評価(20%)、実習日の毎回の報告、課題レポートおよびプレゼンテーション課題(50%)により総合的に評価を行います。

指定教科書・参考文献等

参考文献等は適時紹介します

履修上の留意点

結婚式を創り上げるプロセスで仲間と協働し振り返りの中から多くのことを学びます。事前・事後の学修が大切となります。

実務経験